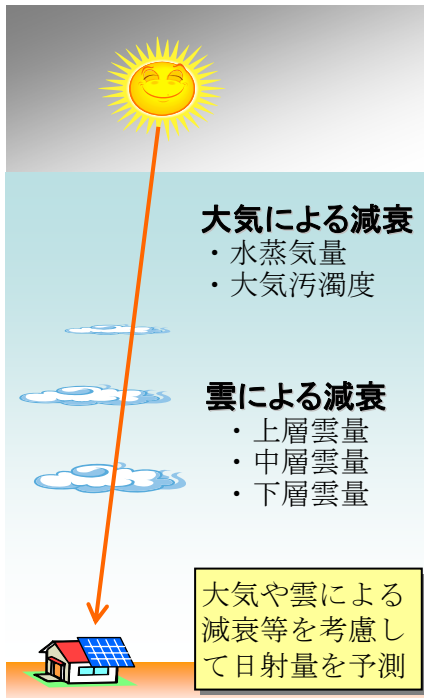


日射量予測システム「ソラリオン」の概要

＜日射量予測のイメージ＞

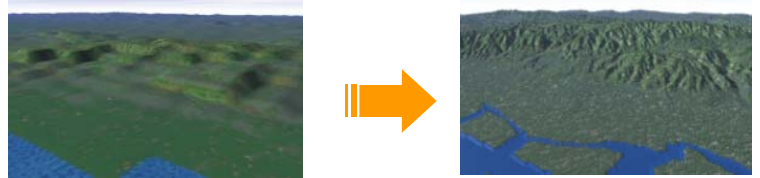


＜一般的な気象予測の方法＞

- ◆ 大気を規則正しく並んだメッシュに分解し、物理学の方程式を用いて、風や気温などの時間変化をコンピュータで計算して、気象条件を予測する数値モデル（WRF [The Weather Research and Forecasting ; ワーフ] など）を活用。

＜ソラリオンの特長＞

- ◆ ソラリオンでは、発生したばかりの小さな雲まで分析するため、大阪市近郊の詳細な地形データをWRFで活用できるようにモデル化しており、0.5kmメッシュと、国内で最も小さな範囲で、日射量を予測することが可能^{*}。詳細な地形データを活用



^{*} 大阪市近郊（大阪市を中心に北は高槻市、南は堺市、東は枚方市、西は伊丹市までの範囲）は0.5kmメッシュ、その他の地域は2.5kmメッシュでの予測が可能

＜ソラリオンの表示イメージ＞（平成23年3月1日から気象工学研究所のホームページ [http://meci.jp/] で公開）

【機能1】
地図上をクリックすることで、その地点の24時間後までの日射量をグラフで表示

【機能2】
時刻を指定することで、その時刻の日射量を分布図で表示

【機能3】
マウスのカーソルを置くことで、その地点の日射量を数値で表示

＜関係者の概要＞

- ◆ 株式会社気象工学研究所
 設立：平成16年9月27日
 資本金：1,000万円
 代表者：代表取締役 小久保鉄也
 所在地：大阪市西区京町堀1丁目8番5号
 事業内容：①気象及び防災全般に関する調査・研究
 ②気象及び防災情報の観測、予測、配信
 ③気象及び防災コンサルティング など
- ◆ 国立大学法人京都大学 防災研究所
 開発部門：気象・水象災害研究部門
 代表者：沿岸災害研究分野教授 間瀬肇
 所在地：京都府宇治市五ヶ庄

